

NEW COLOR!!

床面のフラット化を極限まで追求!

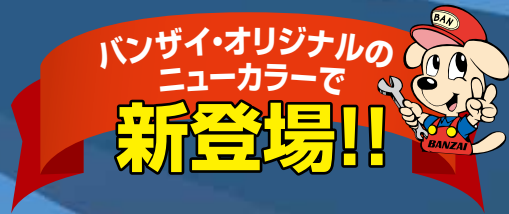
新世代パンタグラフ式

EAGLE **FX** LIFT

イーグルFXリフト

EGY-F32AZX

EGY-F32BZX



能力3.2ton、
揚程1.8m
RV、小型トラックまで対応

足元を気にせず
作業できる
フラット化を実現

エア圧0.4MPa
から使用可能な
省エネ設計

上昇、下降時も
床面はフラット
工場の美観にも!

下記のQRコードをスマートフォンや
タブレット端末のバーコード
リーダーで読み取ってください。



※通信費用はお客様のご負担となります。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの
登録商標です。

BANZAI NEWS

2017
Summer
303

特集

BANZAI NEWS

時流を読む。

～次世代イノベーション! 問題解決思考のススメ～

「人」の知恵を生かしたサービス

AI時代にふさわしいマンパワー活用を考える



BANZAI 株式会社 バンザイ

<http://www.banzai.co.jp>

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: teigy@banzai.co.jp

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700
E-mail: kanto_br@banzai.co.jp

大阪支店
大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041
E-mail: osaka_br@banzai.co.jp

海外販売部
東京都港区芝浦4-16-23
AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6894

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡・郡山
山形・新潟・長野・前橋・宇都宮
水戸・埼玉・千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸・高松

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171
E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp

東京支店
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6840
E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201
E-mail: hirosima_br@banzai.co.jp

●出張所 帯広・函館・富山・松山・岡山
山口・山陰・長崎・大分・熊本

●販売会社 バンザイ南九州販売(株)
バンザイ沖縄販売(株)

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221
E-mail: sendai_br@banzai.co.jp

名古屋支店
名古屋市千種区青柳町6-26
TEL 052-732-2600
E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261
E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp



ISO9001・ISO14001
自動車整備関係検査用機器の設計開発販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切に、
お客様満足度の向上を図ってまいります。



小笠原父島・長崎展望台から望む太平洋 — 東京都小笠原村

はらかな水平線にそびえる積乱雲。海から空へと続くコバルトブルーのグラデーション。東京の都心から南へ1000キロ、北回歸線を越えて亜熱帯の島々へ…。太平洋に浮かぶ小笠原諸島は大自然の豊かさが人気。ホエルウオッチングやダイビングが楽しめる、都内唯一の世界自然遺産です。

★歳時記

- 7月 7日 七夕
- 17日 海の日
- 8月 6日 広島平和記念日
- 7日 立秋
- 9日 長崎原爆の日
- 11日 山の日
- 9月18日 敬老の日
- 23日 秋分の日
- 10月 9日 体育の日



●目次

- ★特集 時流を読む。…………… ①
～次世代イノベーション! 問題解決思考のススメ～
「人」の知恵を生かしたサービス
AI時代にふさわしいマンパワー活用を考える
- ★モデルショップ訪問【株式会社 千葉マツダ 新港店】…………… ⑥
効率的、清潔な作業空間で
お客様にアピールするサービス提供を!
- ★モデルショップ訪問【大分トヨタ自動車株式会社 本店】…………… ⑧
進化する自動車に、より高度なサービス対応と、
お客様へのおもてなし空間を実現
- ★ショールーム…………… ⑩
- ★ロータリー…………… ⑬
- ★BANZAIガイド…………… ⑰



時流を読む。

～次世代イノベーション! 問題解決思考のススメ～

「人」の知恵を生かしたサービス AI時代にふさわしいマンパワー活用を考える



わずか14歳、中学3年生が居並ぶ強豪を相手に連戦連勝…、先ごろ将棋の藤井聡太四段が達成した将棋界始まって以来の29連勝という大記録には、将棋愛好者ならずとも声援を送った方が多いのではないのでしょうか。史上最年少でのプロ入りとそこから始まる活躍は、この若者がいったいどこまで伸びていくのか大きな期待を抱かせてくれます。私たちのビジネス社会でもこうした若者たちの活躍に重ねあわせて、将来に期待したいものですね。

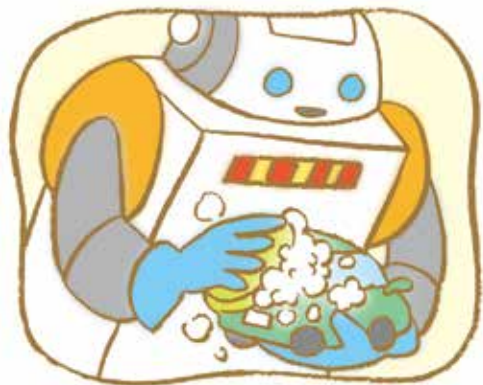
AIが人の能力を超える！？

昨今、将棋や囲碁、チェスなどの勝負事の世界でAI(人工知能)と人間の対決などといった話題がマスコミでしきりに報じられています。それらのニュースによると最近ではコンピュータソフトの能力が著しく向上し、人間が作ったソフトに人間が負けるという場面もしばしば話題になります。先に上げた藤井四段の圧倒的な強さも詰将棋で鍛えた「読み」の力に加え、コンピュータソフトを練習相手にとり入れたことが強力な武器になっているそうです。まさに将棋界においてもコンピュータ世代の台頭が現実のものになっています。

先ごろ総務省が発表した今年1月における人口動態調査によると、国内の人口は8年連続の減少となることが明らかになりました。それによると国内人口は前年から30万8千人あまり少ない、およそ1億2558万人となりました。30万人を超える減少となったのは1986年の調査以来初めてのことだそうです。ことに65歳以上の人口の割合は過去最高の27.17%となり少子高齢化がさらに進んでいることが分かります。

労働力不足の時代はもうすぐそこまで…

こうしたデータはこれまでも発表されてきた将来



推計を裏付けるように進行しているのですが、とくに問題となっているのは生産年齢人口の減少です。15歳から64歳までの生産年齢人口は昨年には7,708万人となり、さらに10年後には7,000万人を割り込むと推計され、その後も人口の減少とともに大きく減少を続けていきます。すでに多くの業種において人材の不足が問題になっていますが、昨今取り上げられることの多い輸送業界におけるドライバー不足もその表れの一つといえるでしょう。こうした問題は先進諸国においては程度の差こそあれ同様の傾向が見られます。その対応として進んでいるのが、AI技術により人手不足を補おうという動きです。わが国でもすでにガソリンスタンドのセルフ化やスーパー、コンビニのセルフレジなどで販売のセルフ化が現実のものになっています。コンビニ大手5社では経産省と連携し、商品にICタグを取り付けて個品管理を行うシステムを2025年までに全国の店舗で構築するとしています。そうなればレジのセルフ化も大幅に進むとともに商品管理のロボット化にもつながるでしょう。また同様に自動車の自動運転化も、人間のドライバーに代わって効率的な商品の輸送業務を実現することになるかもしれません。

ロボットが人の仕事を奪う時代に！？

その半面で、本来は人手をサポートするためのAIによって、人の仕事が取って変わってしまうという現象も出てきます。一昨年、英国オックスフォード大学のマイケル・オズボーン准教授によって「将来AIやロボットなどにより代替される可能性の高い職業」が発表されて話題になりました。

わが国でも、同様の手法で野村総研による分析が行われていますが、それによると将来的には労働人口の約半数、49%にあたる職種がAIに代替される可能性が高いとされています。この中には自動車サービスに関わる職種は含まれていません。当然のことながら、カーライフの安心、安全をサポートするという高度な使命をもった自動車サービスには、優秀な整備士の知識と技術が求められるからです。

しかしながら、自動車サービスに関わる一つひとつの業務を見てみると、自動化、AI化が可能な部分は多々あるようです。日本経済新聞と英フィナンシャルタイムズの共同プロジェクトのウェブサイト「わたしの仕事、ロボットに奪われますか?(Can a robot do your job?)」で、「車両整備士、修理工」を調べてみると、その全92業務のうちロボットで代替できる業務は60業務、全体の65.2%という数値が出てきます。内容を詳細に見てみると「なるほど」と思えるものも、中には「それはどうかな?」と首を傾げるような項目もあるのですが、将来的にはどの職種においてもロボット化は進んでいくだろうということなのです。

実際のサービスでもすでに門型洗車機や自動下部洗浄機など、ある意味でのロボット化は進んでいます。このような労力を必要とする仕事、負担となる仕事は機械に任せ、人は診断、故障探究など、より付加価値の高い仕事を担当するという形がAI時代のサービスということになるでしょう。もう一方では、より幅広い人材を活用することも必要になるでしょう。女性整備士やベテランの高齢者

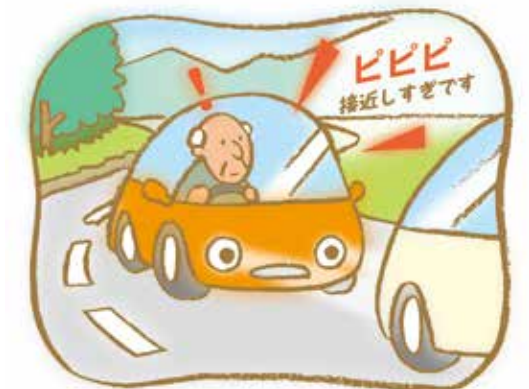
メカニックの採用など、これまでは難しいと思われていたような施策も検討される必要があります。もちろんこうした人材活用にあたっては、タイヤリフターなどの省力化機器や、より小さな力で操作できるツール類など設備改善が不可欠といえます。

AI時代に「人」の知恵を生かしたサービスを!

さて冒頭にあげたようなAIの進化は、車の技術においてもこれまで以上のスピードで進んでいくことでしょう。とくにレーダーやソナーセンサーなどによる各種の運転支援装置を搭載したASV(先進安全自動車)は、前述したような未来の高齢化社会においてはますます重要なものとなり、さらに高度な機能が求められてきます。

今回のオートサービスショーでバンザイではこれからのASVのサービスに必須となるエイミングセミナーを開催しましたが、こうした技術は従来の車の機能「走る、曲がる、止まる」を超える機能として、まさにこれからのサービスのあり方を示唆するものといえます。

ますます高度化する自動車に「人」の知恵を生かしたサービスを提供すること、それが本来のAI時代のサービスのあり方といえるのではないのでしょうか。



予防安全技術の急激な普及・進化に打つ手なし？ いえ、まずは今「できること」から一歩ずつ始めましょう！

地球温暖化とBRICs(ブラジル・ロシア・インド・中国)での大気汚染、先進国での少子高齢化に端を発して、自動車技術は近年急速な勢いで進化・変化しており、1年前まで最先端だった技術が今や普及の段階に入っている、ということも珍しくなくなっています。そのような状況下では、自動車技術の「時流を読む。」ことなくして、アフターサービスの「次の一手」を打つことはできません。連載第1回となる今回は、ASV(Advanced Safety Vehicle=先進安全自動車)ともADAS(Advanced Driver Assistance System=先進運転支援システム)とも呼ばれる予防安全技術について時流を読み、次の一手を考察します。



オートサービスショー2017のバンザイブースで開催された「ASVエーミングセミナー」におけるエーミング作業実演の様子。車両のセンター出しには開発中の「センターサポートナビ」を使用した

予防安全技術の普及・進化は、もはや留まる所を知りません。特に、レーザーレーダーによる低速域衝突被害軽減ブレーキおよび誤発進抑制制御機能が5万円で装着できる軽乗用車が登場した2012年以降は、下表「主な先進予防安全技術の装着台数」の通り、急激に普及・進化が加速するようになりました。

その後、国産車メーカー各社は、日本で販売する乗用車のほぼ全車種に予防安全技術を採用する取り組みを進めており、輸入車でも一部のブランドはミリ波レーダーやカメラにより全車速追従ACC(アダプティブクルーズコントロール)やレーンキープアシストなどを実装したシステムの全車標準装備化を達成しています。

そして、その先にある自動運転技術もすでに、各国の産学官が連携して研究・実験を進めています。日本でも右下にある「乗用車の自動運転実用化に向けたロードマップ」の通り、2020年には高速道路、2025年には一般道でのレベル3自動運転(加速・減速・操舵を自動で行うが、システムが要請した時はドライバーが操作する)、同じく2025年には高速道路でレベル4(乗員が運転に全く関与しない)自動運転の実用化を目指している状況です。

しかしながらこうした予防安全技術は、事故やその他の点検整備、用品取付などでセンサー装着個所を脱着・交換した場合、自動車メーカー指定

主な先進予防安全技術の装着台数(出典:国土交通省「ASV技術普及状況調査」)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
低速域衝突被害軽減ブレーキ	0	0	0	0	0	0	84,952	455,572	1,277,268	1,053,870
衝突被害軽減ブレーキ	15,223	23,334	34,167	35,961	37,025	46,627	100,290	197,419	520,530	705,449
後退時衝突被害軽減ブレーキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113,478
高速ACC	19,669	28,253	32,328	35,001	27,822	43,995	94,589	180,996	224,778	345,187
低速ACC	3,372	3,723	11,016	1,425	1,856	19,956	63,154	94,288	109,538	199,775
全車速ACC	1,369	4,886	7,054	3,384	6,644	24,843	68,639	98,061	122,750	222,726
車線逸脱警報	26,933	17,780	13,266	6,174	13,025	27,436	73,008	134,698	375,128	802,894
レーンキープアシスト	4,893	2,660	4,200	4,438	10,040	4,110	5,922	12,953	59,294	186,508
路外逸脱抑制機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	202,649
ペダル踏み間違い時加速抑制装置	0	0	0	0	0	0	85,073	528,812	1,411,279	1,393,792
リアビューカメラモニタリングシステム	0	0	329	71	1,377	3,101	22,225	60,855	135,628	192,582
パーキングアシスト	107,202	91,220	64,621	64,167	39,164	18,990	37,222	13,983	30,144	38,175
リアクロス Traffickアラート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	163,538
リアクロス Traffickオートブレーキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,414
ブレーキ付き周辺ソナー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	217,145
ハイビームサポートシステム	0	0	0	0	0	0	45,748	33,806	96,458	284,001
アダプティブハイビームシステム	0	0	0	0	0	0	0	0	18,890	46,637

ACC=アダプティブクルーズコントロール



ASVエーミングセミナーの講師を担当した株式会社あいおいニッセイ同和自動車研究所の技監、鈴木正恒氏



エーミング作業にも対応するバンザイの最新型汎用スキャンツール「MST3000」



オートサービスショー2017に参考出品された「センターサポートナビ」

のテスターとターゲット、水準器を備えた特殊工具などを使って初期化やエーミング(校正)作業を行わなければならないのが一般的です。

またエーミングを行うには、車両前方に車両1台分ほどの空間がある水平な場所を確保しなければならないなど、作業環境がサービスマニュアルで厳密に規定されている場合があります。それ以前に、初期化やエーミングのために必要な作業とツールに関する情報を入手するのが、正規ディーラー以外は極めて困難というケースも見られます。

では、予防安全技術を搭載した車両が入庫しても、メーカーによっては極めて高額となる指定のツールが入手できない、必要な作業スペースが確保できないからといって、初期化やエーミングの作業を全て諦め外注せざるを得ないのでしょうか？

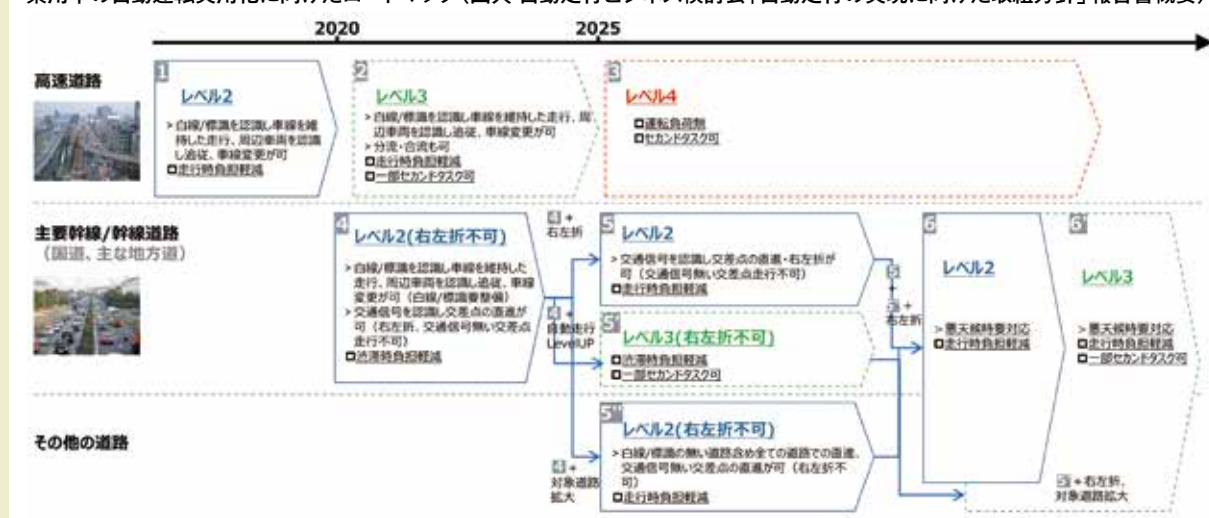
いえ、決してそんなことはありません。メーカー・車種によっては必要なツールを入手しやすい場合や、さほど広いスペースを必要としないものもあります。そして、予防安全技術に対応した汎用のスキャンツールや、エーミング作業をサポートする工具も現れ始めており、バンザイでも開発・販売を進めています。

6月1~3日に東京ビッグサイトで開催された「オートサービスショー2017」においてバンザイブースでは、株式会社あいおいニッセイ同和自動車研究所の技監、鈴木正恒氏を講師にお招きして、「ASVエーミングセミナー」を開催しました。ここでは予防安全技術の代表的なシステムの機能およびセンサーの構造を解説するとともに、バンザイの最新型汎用スキャンツール「MST3000」と、エーミング作業時に行う車両のセンター出しに役立つ現在開発中の「センターサポートナビ」を使用し、新型トヨタ・プリウスPHVに搭載されている「トヨタセーフティセンスP」のエーミング作業を実演していただきました。

予防安全技術はまだ進化の途中にあり、これからは様々なシステムやセンサーが実用化されていくことでしょう。ですが、これら全てを網羅しようとするのではなく、まずは今「できること」、入庫頻度が高く必要なツールや情報も入手しやすいメーカー・車種から一歩ずつ着実に始めていけば、今後のさらなる普及・進化にも対応していけるはずですよ。

バンザイはこれからも、予防安全技術の点検整備に必要な製品の開発・販売と、関連セミナーの開催を通じ、皆様の「できること」を増やすお手伝いを続けていきます。

乗用車の自動運転実用化に向けたロードマップ(出典:自動走行ビジネス検討会「自動走行の実現に向けた取組方針」報告書概要)



効率的、清潔な作業空間で お客様にアピールするサービス提供を!

千葉県内に27店舗を展開する(株)千葉マツダでは、このたび美浜区の新港店の全面リニューアルを実施。マツダの「魂動(KODO)」のデザインコンセプトによる店舗・ショールームと、最新鋭の設備、同社最大規模のサービス工場を併設した、販売・サービスの拠店としてグランドオープンしました。



ショールーム外観、モノトーンの「魂動(KODO)」デザインを導入



右奥にサービス工場、さらに2015年開設のBPセンター工場も隣接

臨海エリアに最新サービス拠点が誕生

千葉市の臨海エリア、各系列ディーラーの隣接する美浜区新港の一角に、このたび完成した同社の新港店は、店舗とサービス工場を合わせて敷地約2,000坪、黒を基調とした外観がひととき目を引く装いとなっています。旧店舗は築50年ほど経過し、増築を重ねた工場だったため、「リフト数は14基あったのですが、作業効率が悪く、改善が課題となっていました」と店長の角田兼一氏。新サービス工場は小型車サービスに14ストール、トラックサービスに1ストール、検査ライン、洗車場2ストールと規模も充実、すべてのストールにリフトを設備し、作業効率の良い設備環境を実現しています。



新港店 店長 次長
角田 兼一氏



サービスマネージャー 課長
太田 欽英氏



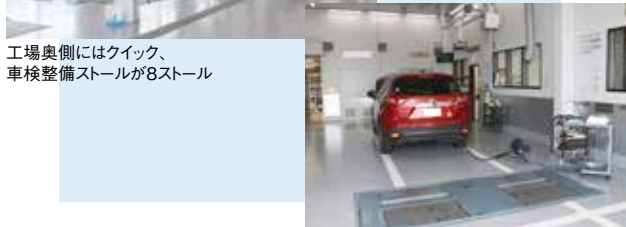
タンデムリフトがずらりと並ぶ



クイック整備に活躍するワークステージX



工場表側の一般整備ストールが6ストール



工場奥側にはクイック、車検整備ストールが8ストール

検査ラインにはネットワークEasyを導入、オバシメータでスカイアクティブDを検査中

作業効率と環境面での運用がカギ

サービス工場の主な設備はタンデムリフトが13基、フラットワークステージリフトが1基、またトラック用に1柱リフト「プラトン10」が1基、また検査ラインにはトリプルテスター及び検査業務効率化システム「ネットワークEasy」が導入されています。

リフト類はすべて埋設型のフラットキット仕様を採用、油圧ポンプ等もすべて埋設して工場の床面をフラットに、作業性の良い空間とし、ライトグレーの床面と、設備機器も全てモノトーンのグレーで統一し、明るく清潔感のある環境を実現されています。

またショールームの待合コーナーからもオープンな作業環境としていることから、「お客様から整備している姿を見られているので、メカニックも良い意味での緊張感を持って作業しています」とサービスマネージャーの太田欽英氏。最新の工場設備をいかに効率良く、サービスに活用していくか、運用面にもきめ細かい気配りで対応されています。



タイヤチェーン「ホフマン モンティ3300」とホイールバランサー「フォーミュラV9801」もオリジナルカラーに統一



洗車場は門型洗車機と手洗い洗車場の2ストール



ショールーム正面のフロント、右手奥がサービス工場



待合コーナーからサービス工場の様子が見える



展示車の色が映えるショールームのデザイン



エンジン整備に排気ガス排出システムは必須



タイヤ等、部品の取扱いにも気遣いをされている



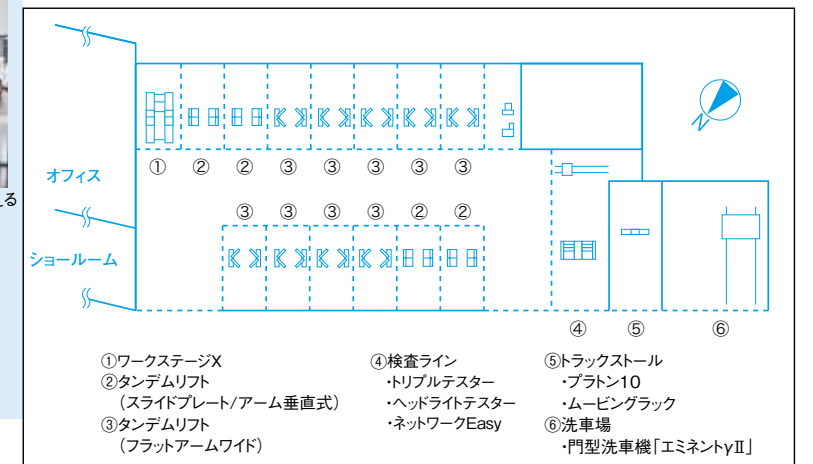
ストールごとにスポットクーラーを配置

お客様の期待を超えるサービス提供が可能に

「新店舗になって、お客様の期待値も高まっています」と、角田店長。新たな環境で「最高の仕事」を心掛けているとのこと。「現在ではサービス工場も単なる作業場ではなく、お客様に訴求するツールにもなっています」(同)とのこと。最新設備、清潔な環境の中でお車を整備することがお客様へのアピールにつながるということです。

「単に効率の追求だけでなく、お客様のニーズに寄り添っていくことが大切です」(同)、そのためにはお客様の理解、納得が不可欠。したがって「見える工場」はお客様の理解を得る大切な条件になります。

「せっかくの最新鋭工場ですから、つねに最高の状態で使いたいですね」と太田マネージャー。清掃や作業改善もトップダウンでなく、一人ひとりの「気付き」や自主性を大切に取り組んでいるとのこと。



進化する自動車に、より高度なサービス対応と、お客様へのおもてなし空間を実現

大分県内に11個所の新車販売拠点を展開する大分トヨタ自動車(株)(代表取締役社長 渡邊教和氏)では、昨年のBPセンターの開設に続いて、このたび大分市内の本店及びサービス工場を完成。本年10月には創立75周年を迎える同社の節目として、効率化、環境面での最新設備を備えた販売・サービス拠点としてグランドオープンしました。



常務取締役 サービス部長 藤高 浩氏



国道に面した本店ショールーム、2~5階が本社屋



「あっぱれくん」がお出迎え



大きなキャノピーのあるショールーム入口



車検、一般整備に小型車ストールが10ストール



フラットな床面で作業性も向上

創立75周年を迎え、拠点のリニューアルを推進

大分市内をほぼ南北に貫く国道10号線に面した新拠点は、1階を本店及びサービス工場とし、上層階には同社の本社及びグループのネットトヨタ東九州(株)の本社を置く5階建ての構造となっています。同社では創立75周年の記念事業として、昨年完成したBPセンター、さらに本店の隣接地に建設予定のネット店のサービス工場など、一連の拠点リニューアルを推進されていますが、今回の新店舗はまさにその中核として位置づけられる事業となっています。新サービス工場では効率面、環境面に最新の設備を導入し、高品質なサービスを効率的に実施できる環境を整えるとともに、お客様へのおもてなし、対応面においても最高の環境を実現されています。



高級感のあるイタリア製ツールキャビネットを採用

FCVストール、車検専用ストールは幅5m、余裕の広さ



ハイパー車検専用台車と専用のホースリールを設備

充実した設備機器と余裕のサービス空間に

ショールーム奥に続く新サービス工場は検査ラインを合わせて19ストール。乗用車からトラック、バスまでのサービスに対応し、さらに2ストール分のスペースをあてて研修室を設けています。

主な設備はタンデムリフト10基、ドライブオンタイプのダブルバスカルリフトが1基、またトラック、バスの整備に4柱リフトを2基、洗車ストールに4柱リフトが1基。また検査ラインにはトリプルテスター、固定式フリーローラー、ネットワークシステム等が導入されています。

環境面ではストールごとにスポットクーラーを配置し、壁面には作業内容に応じて各種キャビネットを配置するなど効率化が図られています。工場中央の通路は幅8mとして大型車種の入庫も容易にし、作業スペースもFCVストール、ハイパー車検ストールでは幅5mと余裕の広さをとっています。



トラック、バスのサービスに6.5t能力の4柱リフトが2基



4柱式ワークステージ、ドライブオン・フリーホイール作業に対応



固定式フリーローラーを設備した検査ライン

サービスと顧客対応の技術向上を目指す

「お客様に気軽にご来店いただけることがこれからのサービスにはより重要になります」と、常務取締役サービス部長の藤高浩氏。同店ではすでに高い来店比率を実現されていますが、新店舗においてはさらに「おもてなし」の環境づくりや、SMB(サービスマネジメントボード)の効率的な運用により、お待たせしないサービス体制を実現。「お客様への問診やサービス内容のご説明、アドバイスにおいても、よりレスポンスの良い対応が可能になりました」(同)とのことです。ますます高度化する自動車技術に対応して高品質なサービスを提供する一方、「お客様へのきちんとした説明をメカニック自身が実施できることが必要になっています」(同)とのこと。より高度な役割が求められるサービスメカニックに対して、同社ではステップごとの教育もきめ細かく実施、そのための研修センターとしての機能も新店舗において実現されています。



テクノショップ入口、上層階は駐車場



フロントわきの窓からサービス工場が見られる



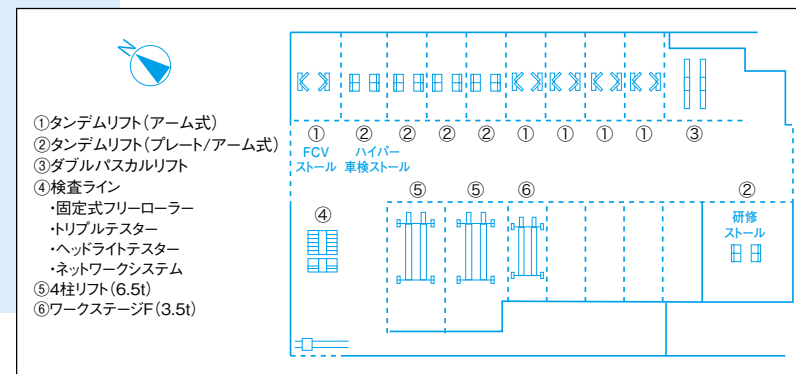
セラミックタイルの床面が鏡のように美しいショールーム



フロントは木の質感で落ち着いた雰囲気



くつろいでお待ちいただける待合コーナー



第35回 オートサービスショー2017 開催!!

バンザイブースへ、 ご来場ありがとうございました!

6月1日から3日まで、東京ビッグサイトにて開催されました第35回オートサービスショーは3日間の来場者38,298人と、前回を大幅に上回る盛況のうちに無事閉幕しました。

バンザイブースでは「人と車の未来に向けて ~次世代の整備と環境を創る~」をテーマに、コーナーごとに最新の整備機器、ならびに今後の商品化を視野に置いた参考出品の機器などを展示し、さらに近未来のサービスを提案する各種プレゼンテーションを行いました。



連日の盛況となったビッグサイト会場



開幕に先立ってオープニングのセレモニーが開催された



機械工具協会会長、
柳田昌宏((株)バンザイ代表取締役社長)による開会挨拶



国交省、経産省の来賓も交えてテープカット



3日間にわたって賑わった会場受付



未来サービスへの提案を発信したバンザイブース入口



バンザイのキャラクターBAN君もお出迎え

車検整備



最新機器を駆使した車検コーナーでのプレゼンテーション



スムーズな車検の流れを各種システムがサポート



「フラットマルチテスター」(参考出品)で最短5mのラインを実現



キャタピラ方式の採用によりスーパーマルチテスターをフラット化



従来より記録簿の印字範囲を拡張した「ネットワークEASY PLUS」(新商品)

近未来整備・診断



ASV(先進安全自動車)のサービスに必須となるエイミングセミナー



レーダーやソナーセンサーの調整に不可欠な車両の正確な中心線を測定する「センターサポートナビ」(参考出品)



スキャンツールMST3000を使用してセンサーの設定を行う

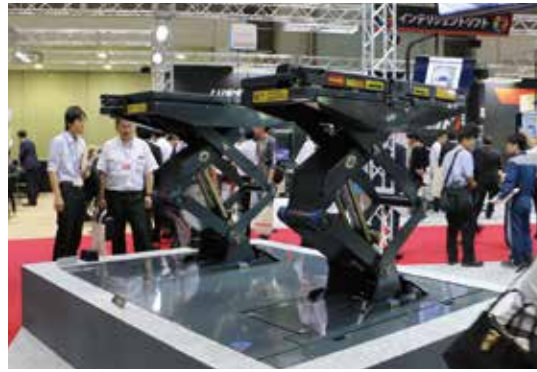


スマートウォッチでICタグを読み込み、車両の位置、作業状況を管理する「タッチロケーション」(参考出品)



点検結果を音声で入力できるスマートグラス「ウェアラブル点検システム」(参考出品)

リフト・ガレージ機器



「イーグルFXリフト」は極限までフラットな作業空間を実現
バンザイ・オリジナルの
ニューカラーで新登場!



リフトアームの位置決めが容易にできる「LEDミラー」



能力5ton、ドライブオンタイプの
「フラットワークステージ」



電動でリフティングポイント位置決めができる
「アームコントロールリフト」(参考出品)

インテリジェントリフト



各種情報機能によりメカニックをサポートする
「インテリジェントリフト」(参考出品)



液晶画面に各種整備情報を表示



偏荷重防止の安全機能も搭載



リフトポイントガイド、サービスデータの
表示機能も搭載



ブレーキ粉塵をスピーディに吸引できる
「ブレーキタスクリーナー」(参考出品)

大型車整備機器



安全性と作業性を両立した注目の「フロアリフト」



回転収納式ペダルスイッチの
採用で万一の誤作動を防止

タイヤ5本同時充填できる
TBインフレーター



安全で効率的な脱着作業が行える「クラッチリフター」
「プロベラシャフトリフター」



「LEDワークライト TERENCE」でピット内も明るく



粉塵が飛散しない大型車用エレメントクリーナー

ボディリペア&ペイント機器



ロングホイールベース化に
対応したセレット
「セベンXL」

高品質塗装を追求した
最上級塗装ブース
「アイリス スーパープレミアム」



大型車用アライメントテスター「カムアライナー」
大型車への先進安全技術搭載によるアライメント測定・
調整の重要性がますます増加



3Dに進化したコンピュータ車両計測システム「ナジャ3D」
入庫時、出庫時の損傷確認、完了証明としてご使用いただけます

タイヤ・アライメント



業界初のロードフォース計測機能を搭載した
タイヤチェンジャー「ユニフォミティ」



超音波でホイールをきれいに洗浄する
「タイヤ ソニック」



低扁平タイヤにも最適の
レパレスタイヤチェンジャー
「TCSI-1100」



非接触の最上級アライメントテスター「タッチレス」



balancer用ホイールリフターで重いタイヤも楽々

洗車・洗浄機器



屋外の洗車・洗浄機器コーナー



レール長6.2mの省スペース門型洗車機(参考出品)



水圧とプラスチック粒子で
ホイールを強力洗浄(参考出品)



水道がない場所でも手軽に使える100V洗浄機

美装機器



デモカーも登場、美装ビジネスをアピール



カーディティリングの
トータルブランド「B-PRO」



各種のクリーニング・コーティング関連商品をラインナップ



スーパーシートクリーナーで
ダニ、カビ、臭いも徹底除去



ボディ、ガラス、ホイールまで、高品質な仕上がりを提案



サイドミラーの超撥水コートで後方視界もスッキリ

環境・効率化機器



出張サービスに各種設備を搭載した
「モビリティプラス」(参考出品)



床に置いたタイヤをそのまま
移動できる「スマートタイヤカート」
(新商品)



高効率車検台車
「マエストボックス」(新商品)

女性メカニック向け機器



カラフルなツールを揃えた女性向け機器コーナー



小さな力で扱える各種ツールで女性メカをサポート

感動夢工場 第36回研究会を開催

感動夢工場では6月1日、2日の両日、東京江東区の会場において第36回研究会を開催しました。今回は講師に(株)エイ・エル・ピーの八尾稔啓氏を講師として「お客さんの心をわしづかみにする顧客購買心理学」をテーマとする講演を柱とする研究会のほか、2日目には東京ビッグサイトで開催された第35オートサービスショーの見学を行いました。

講演の中で八尾氏は「感動」を与える商品作りが企業戦略にとって不可欠として、大手菓子メーカーの事例をあげ、柔軟な発想と「遊び心」の大切さを強調されました。また顧客の購買心理に基づいた販売の演出方法としてコンビニエンスストアや東京ディズニーランドなどにおける事例を紹介。また一方で、高額商品である自動車の販売・サービスにおいて顧客の生活・行動・人生などを勘案したうえでの顧客の「物語」に迫る販売方法が有効であると指摘しました。とくに女性の社会進出や価値観の変化の中で「売り手と買い手の価値観の共鳴」など心理面のアプローチが大切と述べられました。



開会の挨拶を述べる、感動夢工場相談役 照沼正俊氏



顧客心理に基づく販売戦略について語る講師、八尾稔啓氏



全国から会員企業が参集

MSC経営戦略会議 第40回定時総会、第113回研究会を開催

自動車整備業の戦略的経営を追求する先進的経営者の集団、MSC経営戦略会議では6月13日、14日の2日間、香川県高松市において第40回定時総会ならびに第113回研究会を開催しました。

第1日目の定時総会においては役員改選、会計予算案、事業計画案をそれぞれ審議、議決され、その後(一財)日本総合研究所特任研究員の佐藤和彦氏により「明日を勝ち取る整備工場」と題して講演が行われました。

佐藤講師は、自動車サービス市場で勝ち残っていくためには、市場の縮小、人口の都市集中、整備士の減少、自動車の減少など時代の変化を捉えた対応が必要になるとされ、今後の市場においてはメガストア化が進行すると予測。さらに低所得者を対象としたローン、リースなどの商品開発が必要になると説かれました。

第2日目は同市内の(株)ヤマウチが展開する「ラチェットモンキー ルート32号店」を訪問。完全来店型、立会い車検をコンセプトにした同店の接客対応やユニークな店舗づくりなど、同社独自のノウハウについて見学しました。



副議長の佐藤尚武氏が開会挨拶



講師の日本総合研究所特任研究員、佐藤和彦氏



ラチェットモンキー ルート32号店



作業場でお客様に説明、情報提供ボードを活用



ネットワークシステムのモニターで検査項目の可否を説明

BANZAI GUIDE

役員のご紹介

バンザイでは平成29年6月28日に開催しました第91期定時株主総会後の取締役会において、各取締役の委嘱業務を決定し、就任いたしました。

今後とも皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長		柳田昌宏
専務取締役	(営業本部 営業本部長)	浅沼芳政
常務取締役	(管理本部 管理本部長)	佐藤誠
取締役	(営業本部 営業副本部長)	藤盛保包
取締役	(営業本部 技術部門担当)	飛田敏行
取締役	(営業部長)	山本正明
取締役	(総務部長兼システム部長)	山田卓志(新任)
常勤監査役		上林宏行(新任)
監査役		岩知道真吾
監査役		佐藤圀臣

なお、本株主総会をもって常勤監査役を退任いたしました高山正敏は、当社顧問に就任いたしました。

編集後記



第35回オートサービスショーも盛況の中、無事に終了しました。全国各地より来て頂いたお客様、本当に有難うございました。今回のオートサービスショーで私が担当したブースは安全推進です。特に事故が多い整備機器はリフトです

「取扱い」と「点検」の重要性を改めて認識していただくことに注力しました。事故を未然に防ぐために我々バンザイは全力を尽くしてサポートしてまいります。何か機器の相談やお困りのことがあればお気軽にご相談下さい。